

第5期（平成25年度）

事業報告書

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会

平成25年度は、前年度に引き続き、交通信号施設工事に関する諸問題を調査研究し、交通信号施設工事に係る施工技術の向上及び経営の合理化の促進を図るため、

- 交通信号施設工事技術の総合的研究
- 交通信号施設工事に関する技術・技能研修
- 交通信号施設工事に関する技能検定
- 交通安全施工に関する調査研究
- 調査研究成果の推進及び普及

等について実施した。

1 業務運営に関する主な行事

主な行事は次のとおりである。

- (1) 総会 平成25年 5月27日(月)
- (2) 理事会(第1回) 平成25年 4月24日(水)
- (第2回) 平成25年 5月27日(月)
- (第3回) 平成25年11月22日(金)
- (第4回) 平成26年 3月 7日(金)

(3) 委員会

ア 総務委員会

理事長、副委員長、各委員会委員長等で構成され、当年度の事業計画に係る課題の推進方法等を検討し、また、各委員会の取組状況の報告を求めて、取組内容、方法、スケジュール等の確認・調整を図った。委員会開催数11回。

イ 施工ハンドブック編纂委員会

交通信号施設工事技術の総合的研究を行う委員会であり、本年は交通信号工事施工ハンドブック編纂に取り組み、完成させた。委員会開催数20回。

ウ 技術講習会運営委員会

交通安全施設工事に関する技術・技能研修に関する実行委員会であり、委員会開催数10回。

エ 交通信号工事士技能検定実行委員会

交通信号工事士技能検定試験に関する実行委員会であり、委員会開催数15回。

オ 防災・安全衛生委員会

防災及び交通安全施工に関する調査研究委員会であり、委員会開催数8回。

カ 交通信号施設の未来を考える会委員会

道路交通安全施設の技術的発展に伴う施工技術を研究する委員会であり、委員会開催回数5回

キ 広報委員会

調査研究成果の推進及び普及に関する委員会であり、委員会開催数12回

2 事業の概要

(1) 交通信号施設工事技術の総合的研究

平成22年度に施工ハンドブック委員会を立ち上げ、交通信号工事施工技術を網羅した「交通信号工事施工ハンドブック」を作成した。

このハンドブックは、第1章 安全管理、第2章 施工技術、第3章 施工管理、第4章 交通信号、巻末資料から構成され、交通信号工事士技能検定試験、交通信号工事技術講習会の教材として活用するほか、交通信号工事者の方々が常時座右の書として活用されることが期待される。

(2) 交通信号施設工事に関する技術・技能研修事業

交通信号工事術講習会運営委員会が中心となって準備を進め、表1に示すとおり、5月～6月に、全国4地域で技術・技能講習会を実施し、171名が受講した。

なお、定期受講者は、交通信号工事士資格保有者の更新講習（資格有効期限内に受講しない場合、資格を執行する。）であり、表2に受講状況を示す。

表1 平成25年度交通信号工事技術講習実施状況

講習内容	講習1「交通信号制御機の構成と機能性能について」 最近の交通信号制御機の基本的機能とその性能、付加機能、外部接続機器とのインターフェース、フェールセーフの考え方並びにチェックポイント等						
	講習2「交通信号制御の基礎知識」 渋滞解消対策、事故防止対策及び三大要素（交差点、設計、運用）を基に交通信号機の設置と運用改善等						
受講者	講習3 ビデオ放映 「交通信号機取付工事 安全施工マニュアル」						
	場 所	盛岡	横浜	東京	金沢	山口	合計
	期 日	5/21	5/23	5/24	5/29	5/31	
	定期受講者	65	23	47	15	17	167
	一般受講者	3	0	1	0	0	4
合計	68	23	48	15	17	171	

表2 交通信号工事技術講習会受講状況

H23 資格取得					H24 資格取得			H25 資格取得	計			
資格者数	受講者数				未受講者数	資格者数	受講者数	未受講者数	資格者数	資格者数	受講者数	未受講者数
	H23	H24	H25	小計								
807	121	121	118	360	447	678	49	629	177	1,662	409	1,253

(3) 交通信号施設工事に関する技能検定事業

交通信号施設工事に従事する人材の育成と専門能力の向上を目的に協会独自の認定資格として、第2種交通信号工事士技能検定試験を平成23年度に発足させ、前年度までに1,485名の交通信号工事士が誕生しました。

平成25年度は、会員限定試験最終年のため10会場を準備したが、表3に示すとおり6会場で177名が合格し、交通信号工事士資格者は1,662名に達した。

(表2参照)

表3 交通信号工事士技能検定実施状況

場所	仙台	東京	名古屋	大阪	岡山	福岡	計
期日	6/12	6/13	6/18	6/19	6/21	6/19	
受験申請数	12	101	27	31	3	6	180
受験者数	12	96	27	31	2	6	174
試験免除		3注					3
合格者数	12	99	27	31	2	6	177

注：平成24年、一般共通試験合格、実技筆記試験不合格、平成25年に実務経歴が実技筆記試験免除年数に達したため、合格とした。

(4) その他の活動状況

ア 信号工事甲子園の開催

開催日 平成25年6月3日

場 所 三重県菰野町(株)シンコーワ会社内

競技参加者 全信工会員会社8社

北海道、東京都、神奈川県、岐阜県、三重県、京都府
大阪府(2社)

来 賓 三重県警交通規制課長、三重日信電子(株)小山代表取締役 他

協議結果 優勝、準優勝、部門賞(迅速性、安全性、正確性)

アイデア賞、特別賞が丹下理事長より授与された。

その他

① 競技に先立ち、模範演技とAED講習会を実施した。

② 競技状況をDVD収録した。

イ 情報発信の取り組み

広報委員会を中心に情報発信内容を検討し、ホームページによる情報発信の他、全信工ニュースを3回（第12号～第14号）発行し、本会会員はもとより、警察庁及び都道府県警察に提供した。

ウ 会員拡大に向けた取り組み

理事長、副理事長、広報委員会委員長、事務局長等が中心となり、8府県の業者を訪問し本会活動の状況を説明し、入会を勧めた結果、会員数は186となった。

表4 会員数の推移

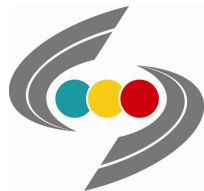
年 度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
正会員	新入会員数	70	30	21	12	9
	退会員数		1		4	1
	現在員数	70	99	120	128	136
準会員	新入会員数	14	9	20	9	2
	退会員数			2	1	1
	現在員数	14	23	41	49	50
計	新入会員数	84	39	41	21	11
	退会員数	0	0	2	5	2
	現在員数	84	122	161	177	186

エ 協会の意義・役割についての理解向上を図る取り組み

各理事等（理事長、副理事長、常務理事、理事、事務局長）が中心となり、警察庁をはじめ、警視庁等11の警察機関を訪問し、警察本部長等に協会の目的、活動状況等を説明すると共に、警察庁はじめ全国警察本部に「交通信号工事施工ハンドブック」を贈呈し、理解向上に努めた。

オ ロゴマークの作成

(ア) 当協会ロゴマークは、全信工ニュースを初め、様々な場面で登場しますのでご期待ください。



(イ) 交通信号工事士ロゴマークは、工事士資格を取得された方は、このロゴマークをヘルメットを側面に貼付及び名刺に印刷することで、ステータスの高揚を促す。



3 その他

通常業務以外に次の業務を執行した。必要経費は、404万円

(1) 交通信号工事士技能検定試験の周知

平成26年度から会員以外にも門戸を広げるため、本事業の周知徹底を図るため、新聞広告、ダイレクトメール（約1,000業者）に広報した。

経費：83万円

(2) 交通信号工事施工ハンドブックの作成、配布

ア 交通信号工事士技能検定試験及び交通信号工事技術講習会に活用

イ 会員各社、交通信号工事士資格者及び警察関係者に贈呈

ハンドブック作成費：195万円

(3) 事務所移転

平成25年8月に東京都台東区東上野から東京都墨田区両国に移転した。

経費：126万円（内装工事・引越作業、全信工ホームページ制作）